

清新中学校だより 清風

令和3年10月1日
第188号

夢を叶えるために 3つの「V」

校長 江戸谷 智章

コロナ禍の生活にあって様々な不安を抱える中、保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、本校の教育活動も大きな混乱もなく今年一年の折り返し地点を迎えることができました。今なお、生徒たちに我慢を強いる状況もある中、自分を見失うことなくそれぞれの目標に向かって歩みを進めている姿を見てとても頼もしく感じています。これから残された後半戦をより充実させていくためには、ここであらためて、年度始めに掲げた個人目標などを振り返り、どこまで達成できているのか、また課題があるとしたらどのような軌道修正が必要なのか等、今一度「初心」に立ち返ってみることも必要なこととと感じています。



目標を達成させるためには、3つのプロセスが必要だと力説されている、日野原重明（ひのはらしげあき）さんというお医者さんがいます。彼は105歳でなくなる寸前まで、聖路加国際病院の名誉院長として、患者さんの診察や治療にあたりながらも、精力的に大学での講義や講演、原稿の執筆もされていたことでも有名です。

実は今から10年以上も前、日野原先生が相模原市民会館にお出でになり、ご講演をうかがったことがあります。ご高齢でいながら、毎日、睡眠時間は3時間というまさに分刻みのスケジュールをこなしていたにもかかわらず、講演中は椅子に座ることもなく、小さな身体から発せられる声にも張りがあり、聞き手を包み込むような優しさと強さを兼ね備えた語りを今でも記憶しています。

日野原先生が生前残された言葉は数多くありますが、中でもご自身の人生のモットー（信念・行動指針）とされていた『夢を叶えるために必要な3つのV』について、この場を借りて紹介したいと思います。

一つ目の「V」が、『**Vision: ビジョン（目標）**』です。言うまでもなく、夢や希望を叶えたいのであれば、自分なりのゴールをある程度明確に描けていなくてはなりません。けれど、「夢」をぼんやりしたイメージだけで終わらせないためには、例えば、漠然（ぼくぜん）と「高校に行きたい」と目標を立てるより、「〇〇高校に行きたい」とより具体的にすることで、その取り組み方が変わってくるものです。さらに日野原先生は、この「Vision」は高ければ高いほど良いともいいます。時として「どうせダメだ」と行動を起こす前からあきらめてしまうことがありがちですが（私だけか・・・）、日野原先生は目標達成のために、10年先のスケジュールまで埋まっていたというから驚きです。



二つ目の「V」が『**Venture: ベンチャー（勇気ある行動）**』です。当たり前の話ですが、未来を切り拓くためには、受け身であっては物事は何も変わりません。しかしだからといって、やみくもに動き回ったところで、上手くいくことはそうはありません。失敗してもへこたれず、誰かのせいにするのではなく、もう一度またやり直そうとする気持ちが大事だからこそ、そこには「勇気」が必要なのかもしれません。

そして最後の「V」が『**Victory: ビクトリー（勝利）**』。具体的なビジョンを描き、勇気をもって地道に行動を起こし続ければ、いつか夢を手につかむことができるということです。逆を言えば、上手くいかなかったときに、愚痴や言い訳が出てくるようでは道半ばなのかもしれません。自らの夢に向かって行動を起こすべきかそうでないかは、他人が評価することではありません。かのベートーベンが残した名言にも『努力した人が成功するとは限らない。しかし、成功した人は皆努力している』という言葉もあるように、結局のところ最後は自分次第ということなのかも知れません。

多くの3年生は、いよいよ進路選択に向けて大きな山場を迎えます。今まで蓄えてきた勉強（教科学習といった狭いものだけでなく、自分に打ち勝つための人間力も含めた勉強も含めて）の成果を思い切り発揮してほしいと願っています。また、1・2年生は、上級生からバトンを引き継ぎ学校の核的な存在となります。一人ひとりが自分なりのビクトリーを手にするのを願っています。

（注）『いま伝えたい大切なこと—いのち・時・平和』日野原重明 NHK 出版 2008 年から一部引用

「成すことによって学ぶ」

活動支援部長 服部 芳彬

今年度が始まってもうすぐ半年となります。コロナ禍でまだまだ学校行事や部活動が満足に行えない状況が続いています。本来なら、こうした活動にエネルギーを注いで学校全体が活気に満ちていることだと思います。

これら「特別活動」と呼ばれる活動は、体験・経験を通してたくさんの方の事を学んでいきます。規範意識や礼儀、思いやりや新たな見方・考え方など学習とはまた違った学びや気づきがあります。しかし、今は貴重な体験・経験をする機会すら掴むことが難しいです。

「学校がつまらない」「生活していて楽しいことがない」。そう感じている人は、持っている活力が発散できずにたまっている状態かもしれません。



この状況を突破するため「どうやったら今まで通りできるか考える」ではなく、「今だからできることを考える」ことをしてみましょう。社会でも2年前までは考えられなかったオンラインによる様々な活動が当たり前となっています。これまでやってきた流れも大切ですが、元通りになるのを待っていたら何もできません。限られた中学校生活の中で何ができるのかをみんなで考え、実現のために努力をする。それが今の学校生活において求められている力かもしれません。

あえてコロナ禍を前向きに捉え、「ピンチをチャンスに変える1年」に清新中生みんなに変えられるよう頑張っていきましょう。

10月の主な日程

※下記の日程につきましては、今後変更が予想されます。ご了承ください。

10月

4日(月) 国際教室「おはなし会」 諸活動なし	20日(水) 教育相談②
5日(火) 体育の部全体練習(4~6校時)	21日(木) 諸活動なし
6日(水) 体育の部全体練習予備日 PTA実行委員会	22日(金) 教育相談③ 生徒会役員選挙 ときわぎ級3年職業体験 ときわぎ級1・2年施設紹介
7日(木) 生徒会委員会 諸活動なし	25日(月) 3年生学力テスト 諸活動なし
8日(金) 体育の部予行練習	26日(火) 3年生進路面談① 教育相談④
11日(月) 体育の部事前準備	27日(水) 3年生進路面談② 教育相談⑤
12日(火) 清学祭体育の部	28日(木) 3年生進路面談③ 教育相談⑥ 諸活動なし
13日(水) 清学祭体育の部予備日(以降順延)	29日(金) 3年生進路面談④ 2年生校外学習 1年生校外学習(中止)
14日(木) 諸活動なし	
15日(金) 3年生進路保護者会 生徒会中央議会	
18日(月) 諸費集金日④ 諸活動なし	
19日(火) 教育相談①	

